

い せかい がくしゃ
ふくいに居ながら世界の学者に

市川新松 いちかわ しんまつ

いし むちゆう
《石に夢中になったきっかけ》
さい
33歳のころ
ひきせんせい
比企先生がつくった
ひょうほんしつ み
標本室を見たこと！

どくがく ひと
独学の人
さいしゅうがくれき しょうがっこう そつ
最終学歴は小学校卒。
ほん よ
本を読んだり、
ひと き
人に聞いたり、
ひとり べんきょう
一人で勉強した。

くわしくは
じんぶつ
これき人物シリーズ 10
いちかわしんまつ すいしやう
「市川新松 水晶ものがたり」を
よ
読んでね！
いつも
てもと すいしやう
手元に水晶
おやゆびだい すいしやう
親指大の水晶1つを
げつ
3か月も
かんさつ つづ
観察し続けた！

いちかわこうぶつけんきゅうしつ
市川鉱物研究室
ねん た
1917年に建てた
けんきゅうしつ げんぞん
研究室は現存。
くに どうろくきねんぶつ
国の登録記念物に。



ざせつ あと
挫折の後の
せいこう
成功
にほん みと
日本で認められなかった
けんきゅう かいがい
研究が海外で
ひょうか
評価された。

りやくれき
略歴
ふくい う
福井生まれ (せいぼつねん
生没年 1868~1941年)
ねん きたしんじょうむら えちぜんし
1894年、北新庄村(越前市)に養子に行く。県
がい しはんがっこう きやういん つと
外で師範学校の教員を勤めたが、1907年に
たいしよく もと けんきゅう ぼつとう
退職してふくいに戻り、研究に没頭。
ねん かいがい がっかい すいしやう けんきゅう みた
1913年、海外の学会で水晶の研究が認めら
れる。